

病床機能報告補足資料

- 1 病院名 埼玉慈恵病院
- 2 所在地 熊谷市石原 3-208
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 160

病床数（現在：2017年病床機能報告）

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	110床	床	50床	160床



(2018年7月)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	110床	20床	30床	160床



(2025年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	110床	50床	床	160床

* 今後変更の予定がある場合のみ記載

- 4 主な連携医療機関

- ・ 紹介元

西熊谷病院、県立循環器呼吸器病センター、関東脳神経外科病院、熊谷総合病院、熊谷外科病院、深谷赤十字病院、埼玉医大、他

- ・ 紹介先

県立循環器呼吸器病センター、関東脳神経外科病院、深谷赤十字病院、熊谷総合病院、熊谷外科病院、西熊谷病院、群馬県立がんセンター、太田記念病院、他

- 5 施設基準

急性期一般入院基本料 1、療養病棟入院料 1、地域包括ケア入院医療管理料 2、入退院支援加算 2、患者サポート体制充実加算、医療安全対策加算 2、医療安全対策地域連携加算 2、感染防止対策加算 2、診療録管理体制加算 1、入院時食事療養（Ⅰ）/特別食加算、開放型病院、外来化学療法加算 1、薬剤管理指導料/病棟薬剤業務実施加算 1/無菌製剤処理料、手術に関する施設基準の届出、ペースメーカー移植術、医療機器安全管理料 1、人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算、輸血管管理料Ⅱ/輸血適正使用加算、脳血管疾患等/運動器/呼吸器/廃用症候群リハビリテーション（Ⅰ）、がん患者リハビリテーション料、外来リハビリテーション診療料、医師事務作業補助体制加算 1、急性期看護補助体制加算、がん治療連携指導料、がん性疼痛緩和指導管理料、ニコチン依存症管理料、糖尿病透析予防指導管理料/糖尿病合併症管理料、持続血糖測定器加算/皮下連続式グルコース測定、救急医療管理加算、夜間休日救急搬送医学管理料、他

6 診療実績（平成 29 年度）

外来延患者数	102,366 人
1 日平均外来患者数	345.0 人
救急車搬入患者数	1,752 人
紹介患者数	2,544 人
入院延患者数	53,526 人
1 日平均入院患者数	146.6 人
手術件数	1,325 件

7 医師の構成

常勤医師	19 名
内科	9 名
外科	5 名
整形外科	2 名
泌尿器科	1 名
脳神経外科	1 名
放射線科	1 名
非常勤医師	30 名
内科	5 名
外科	6 名
整形外科	6 名
泌尿器科	4 名
放射線科	2 名
精神科	1 名
麻酔科	6 名

8 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
3階病棟	50床	急性期	13.9日	86.9%
診療科 外科、整形外科、泌尿器科、内科、脳神経外科、他				
診療実績 外科手術：消化器（食道、胃・十二指腸、小腸・虫垂・結腸、直腸・肛門 肝臓・胆道・膵臓、脾臓、腹腔・腹膜）、乳腺、呼吸器（気管・ 気管支・肺）、末梢血管（静脈）、内分泌、外傷、内視鏡（EMR、 EPT・EST・ステント留置等）、その他 整形外科手術：骨折、人工骨頭、椎間板、半月板、関節、その他 （上肢、下肢、関節、脊椎、神経・腱） 泌尿器科手術：腎悪性腫瘍、膀胱悪性腫瘍、前立腺悪性腫瘍、尿道結石、 膀胱結石、前立腺切除、その他 脳外科手術：硬膜下血種除去術、その他 専門医による各疾患への対応 化学療法、骨粗鬆症、脳梗塞、重症患者への対応、救急医療の実施、全 身管理など（急性期） 2次救急輪番病院としての対応				
医療連携における課題、出口等の問題点 ○急性期医療機関：病診連携等を通じ、地域医療機関と連携を密に行っ ており、比較的スムーズに在宅へ移行している。 また、状況により自院の地域包括ケアや療養を活用している。				
その他 ○将来の方向性 現状維持（7：1急性期一般入院基本料1）				

（以下、病棟ごとに同様の書式で記載）

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
4 階病棟	20 床	回復期	25.2 日	82.9%
	30 床	慢性期	97.3 日	94.3%
<p>診療科 内科、整形外科、外科、脳神経外科、他</p>				
<p>診療実績 急性期治療後、引き続きリハビリテーションが必要な患者等 医療依存度の高い慢性期患者</p>				
<p>医療連携における課題、問題点 ○回復期、慢性期医療機関：在宅医療・介護におけるケアマネージャーとの連携や施設入所（再入所も含む）への移行がスムーズに行われなかったため、入院期間が長くなるケースがある。</p>				
<p>その他 ○将来の方向性 地域包括ケア病棟（50 床）への転換</p>				

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
5階病棟	60床	急性期	15.6日	94.0%
<p>診療科 内科、整形外科、外科、脳神経外科、他</p>				
<p>診療実績</p> <p>循環器疾患：狭心症、心筋梗塞等の虚血性心疾患や不整脈等</p> <p>呼吸器疾患：気管支喘息、肺気腫、慢性呼吸不全、肺感染症（肺炎等）、 間質性肺炎、舌下免疫療法等</p> <p>消化管疾患：肝臓、胆嚢、膵臓等</p> <p>糖尿病専門的治療：持続血糖測定装置（CGM） 持続皮下インスリン注入療法（CSII）</p> <p>リウマチ・膠原病疾患</p> <p>睡眠時無呼吸症候群（SAS）：PSG（終夜睡眠ポリグラフィー）検査 CPAP療法</p> <p>脳外科疾患：脳梗塞、その他</p> <p>外科、整形外科は3階病棟と同様</p> <p>2次救急輪番病院としての対応</p>				
<p>医療連携における課題、出口等の問題点</p> <p>○急性期医療機関：病診連携等を通じ、地域医療機関と連携を密に行っており、比較的スムーズに在宅へ移行している。 また、状況により自院の地域包括ケアや療養を活用している。</p>				
<p>その他</p> <p>○将来の方向性</p> <p>現状維持（7：1急性期一般入院基本料1）</p>				